

## 国民的共同で違憲の戦争法(安保法制)を廃止し 立憲主義・国民主権・民主主義を取り戻そう

### 戦後最大の民主主義の危機

憲法学者・元内閣法制局長官・元最高裁長官らが、明らかに憲法違反と判断しているにもかかわらず、また、マスコミのどの世論調査でも「廃案にすべき」が過半数を示していた戦争法を、安倍自公政権は、9月19日未明に強引に成立させました。仮に選挙に勝利し議席を多数持っていたとしても勝手なことをせず、主権者である国民の定めた憲法に従って政治を行う、これが近代国家としての大原則である立憲主義です。ところが、歴代内閣が集団的自衛権は憲法上行使できないとしてきたものを、一内閣の閣議決定で勝手に憲法解釈を変更し、議席の多数を頼んで違憲の立法を行うという方法で、その立憲主義を葬り去ったのが今回の戦争法です。これを独裁と言わずして何と云うのでしょうか。戦後最大の民主主義の危機です。

### 放置できない憲法違反の戦争法

安全保障環境が厳しく変わったからというのが戦争法推進論者の言い分でしたが、それなら正々堂々と憲法を改正してから、つまり選挙で争点にし、国会で発議し、国民投票を実施して国民の賛成を得てから行うべきことでした。著名な憲法改正論者の憲法学者が、憲法改正の正式手続きを踏まずに、内閣の憲法解釈変更によってこのような法案を通すことはダメだと論陣を張ったのは当然のことでした。また、今まであまり声を上げなかった青年や女性をはじめとする多くの国民が、ひとりの個人・主権者として国会前に足を運んで「廃案」「安倍政権ノー」「9条守れ」「誰も殺し殺させない」「民主主義って何だ」と声を上げたのは、立憲主義・国民主権・民主主義を破壊するこのような暴挙を看過しては、今までの普通の生活ができなくなると敏感に感じたからです。

成立したからといって違憲の法律を放置してはいけません。権力者によるルール違反が恒常化して、国民が安心して生活ができなくなってしまう。戦争法は廃止しかありません。



### 戦争法廃止の一点で国民的共同を

憲法という国の最高法規を守らない安倍政権は、戦後最悪の内閣です。この内閣のもとで戦争法廃止はできません。一刻も早く退陣させなければなりません。しかし、国会で多数を占める安倍政権をどうやって退場させることができるのでしょうか。それは、戦争法廃止を願う国民の願いに応えて、その一点で戦争法に反対した野党が共闘し選挙協力することです。

一強多弱と言われる国会状況はなぜ生じたのでしょうか。それは、民主党政権の失政にも原因はありますが、1位しか当選しない小選挙区制という選挙制度のもとで、野党が乱立して、比較多数の与党が漁夫の利を占めているからです。これを打破するには、野党が戦争法廃止の一点だけで大同団結して選挙協力することです。国会終盤に「野党は共闘」というコールが国会前に響きました。これは安倍政権と与党の目に余る横暴・暴走に悔しい思いをした国民の心からの叫びではなかったでしょうか。

違憲状態を解消するには、これしかありません。野党が政策の違いを横に置き、大胆な発想で協力共同することでしか戦争法廃止はできません。さまざまな違いを一時保留し大同団結する、これがこの異常な「安倍政治を許さない」ための唯一の道です。

### 安倍政権を退場させ、立憲主義・国民主権・民主主義を回復しよう

来年夏には参議院選挙があります。違憲立法に賛成した議員を落選させ戦争法を廃止しよう、をスローガンに野党共闘が成立したら、1人区の多い参議院で与党を過半数割れに追い込むことは可能です。そして、安倍政権の暴走に歯止めをかけ、衆議院の解散総選挙に追い込んでいく。ここでも野党共闘で与党を過半数割れに追い込み、政権を国民が奪還し、戦争法を廃止する。

こうして、立憲主義・国民主権・民主主義を回復するのです。

これは絵空事ではありません。沖縄ではすでに実現していることです。辺野古新基地建設(普天間移設)反対の一点で保守・革新の枠にとられない協力共同が実現し、翁長雄志知事を誕生させただけでなく、2014年末衆議院総選挙で4つの全選挙区で新基地反対派が自公候補に勝利しているのです。沖縄で実現したこの共闘を、違憲の戦争法廃止の一点で日本全体で実現することが、戦争法廃止を現実のものとするようになるのです。政策の違いは横に置き、野党は協力共同して安倍政権の暴走を止めよう、ここに大義があり、国民の切実な願いがあります。

戦争法成立直後から、すでにこのとりくみが始まっています。簡単ではないでしょうが、立憲主義・国民主権・民主主義の回復のために、また「教え子を再び戦場に送らない」ために、高教組は全力で戦争法廃止の実現を目指してとりくむ決意です。教職員のみならず、それぞれの立場で、この世論を大きくしていくとりくみに参加されることを訴えます。

